

甲府市企業版ふるさと納税について

令和7年2月5日

甲府市 産業部 産業総室

ふるさと納税課 土橋 克己



1 甲府市企業版ふるさと納税の現状

2 甲府市の取組概要

3 現在特に力を入れている取組

甲府市企業版ふるさと納税の状況

平成28年度に創設された企業版ふるさと納税は、国が認定した地域再生計画に位置付けられる地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みである。

甲府市においては、損金算入による軽減効果（寄附額の約3割）と合わせて、令和2年度に税制改正により税額控除が拡充され、また、地域再生計画の認定要件が緩和されたことに伴い、令和2年8月に内閣府から認定を受けたことから、寄附を募集することとなる。

年 度	寄附件数	寄附金額
令和2年度	0企業	0 円
令和3年度	8企業	16,000,000 円
令和4年度	3企業	6,200,000 円
令和5年度	12企業	37,841,000 円
令和6年度 (12月31日現在)	6企業	11,900,000 円

令和5年度寄附より、**物納寄附を受納する。**
3企業6,741,000円

○令和6年度については、次年度に5,000万円強の寄附を想定する事業を調整

1 甲府市企業版ふるさと納税の現状

2 甲府市の取組概要

3 現在特に力を入れている取組

甲府市の取組概要【物納】

☆ 物納寄附の積極的な推進

◎塩と水だけあれば発電するLEDランタン「ソルピカ」を、**A社（旅行業）より1,000個、B社（旅行業）より670個**の物納を受け甲府市に60箇所ある災害時避難所に設備する。



◎ヘッドホーンのように装着して使用する骨伝導集音器「フィルチューンウィークリア」を、**C社（医療機器販売業）より5器**の物納を受け市民課受付窓口等で、耳の不自由な市民の方々に使用いただいている。



甲府市の取組概要【募集する事業】

甲府城周辺地域の整備事業

- ◎ 甲府市は、武田信玄公の父信虎公が躰躰が埜に館を築いた1519年から甲斐の府中「甲府」が誕生し、2019年には開府500年（2019年）を迎え、本年は、武田信玄公生誕500年（2021年）という歴史的節目を迎えている。
- ◎ 甲府城は、豊臣秀吉配下の浅野長政・幸長父子などにより、今からおよそ400年前に築城され、徳川綱吉の側近、柳沢吉保により、甲府城を中心として小江戸と呼ばれるに相応しい賑わいと文化の成熟性を有したまちが整備された。

現状と課題

甲府市は、太平洋戦争末期に空襲を受け、歴史的な趣のある建築物などの多くが消失したが、その後先人の努力により、活気に溢れ魅力ある政治・経済・文化の中心地として復興した。しかし現在、日本の各地方都市と同様に、モータリゼーションの進展等とともに、住民の生活行動や企業活動の広域化により、郊外へ人口や商圏が移動し、本市の顔である中心市街地の空洞化が進んでいる。こうしたことから、本市も中心市街地活性化に係る様々な施策を展開しているが、今後、**多くの人々が集う持続可能なまち**としていくためには、**地域の魅力や文化を創造・発信**していくとともに、**何百年にわたり本県の中心であり続けた甲府城周辺を含む中心市街地の再活性化**は大きな課題となっている。

事業の目的

市民が甲府市の歴史や伝統・文化を再認識する中で、郷土愛の醸成を図るとともに、次の500年に向け地域の特性を活かした活性化を図るために、「お城がつなぐまち 甲府城周辺地域」をコンセプトとして、**お城がまちのシンボルとなり、お城を中心にまちと人、人と人がつながり、様々な交流を通じて賑わいを取り戻し、新たな文化を創造するまちを目指す。**

これまでの取組

甲府駅南口周辺地域修景計画を県と連携して推進するとともに、新都市拠点整備事業、中心市街地商業等活性化事業、おしろランド（子ども屋内運動遊び場）整備事業、まちなか回遊道路整備事業などを展開してきた。

事業内容

甲府城周辺地域活性化計画整備事業

甲府城の歴史・文化と緑が感じられ、ゆっくり過ごせ、また来たいと思える空間づくり

本事業は、甲府城を中心として城下に栄えた小江戸甲府の賑わいを感じられる整備に向けた確実かつ効果的な事業推進を図るものである。

得られる成果・目標

- ①お城周辺で多様な魅力を創出することでエリア価値が向上し、**中心市街地を活性化**
- ②甲府のシンボルが輝きを取り戻して再生することで、**シビックプライド向上に寄与**
- ③お城周辺の観光資源をつなぐ回遊ネットワークを充実することで**交流人口を拡大**

企業に求めるもの等

- ① 住み続けられるまちづくりの実現に向けた取組として、社会問題の解決に連携する**新たなパートナーシップの構築**
- ② 地域の活性化に向けた**新事業開発への提案や協力**

企業のメリット

本市のまちづくりに連携していただくことによる、社会貢献の実現や企業のイメージアップにつながるとともに、**連携して創り上げたまちが甲府城とともに後世に引き継がれる。**

企業との連携イメージ

本事業を通じて、SDGs関連事業において企業版ふるさと納税を活用し、**企業と本市がWIN-Winの関係構築**するために必要な取組を推進していく。



甲府城周辺地域の歩行者回遊ネットワーク形成方針図



出典：甲府城周辺地域活性化基本計画

甲府市歴史文化交流施設等の整備について

甲府駅周辺のエリア価値の向上、新たな日常の実現を目指す

【小江戸甲府 城下町整備プランのコンセプト】

- ◎甲府駅、甲府城周辺、中心市街地の連続性・回遊性の向上を図り、**歩きたくなるまちなか**を創出する。
- ◎甲府城の石垣やお堀等の景観ロケーションを活かし、**甲府の歴史・文化**が感じられる空間を演出する。
- ◎甲府城周辺で多様な交流・つながりを創出し、**新たな文化・価値**を創造する。

歴史文化交流施設(愛称:こうふ亀屋座)

○概要

「華やかなりし小江戸文化を中心に甲府の歴史・文化を感じ、交流し、つないでいく歴史文化交流施設」をコンセプトとし、資材の一部に県産木材を利用するとともに、随所に梁や柱を見せることで、木の雰囲気を感じられる空間としています。かつて甲府が小江戸と呼ばれるほど賑わっていたころにあった亀屋座という芝居小屋をイメージ。



- ・構造
木造2階、延床面積:499.35㎡
- ・演芸場



- ▶1階・2階合わせて**120人を収容**
- ▶寄席や音楽などの演芸の観賞のほか、市民・県民及び団体による発表など、多様な文化芸術の発信の場として活用
- ▶芝居小屋の雰囲気を出すため、1階は升席とすることも可能
- ・多目的室(全5室)
- ▶物販や展示、モノづくり体験のワークショップのほか、若手起業家のチャレンジショップなど、様々な用途に使用可能



・レンタサイクル

- ▶市内の飲食店や観光スポットをつなぐ拠点として、回遊性の向上を図ります。



交流広場

○概要

多様な交流を生み出す「オープンスペース」として、ブース、キッチンカーによる出店や各種イベントを開催できるほか、発表の場や来訪者がゆったりと過ごせる憩いの場を提供します。



飲食物販等施設(小江戸甲府花小路)

○概要

甲府城を中心として、城下に栄えた小江戸甲府の雰囲気や賑わいを感じながら、食事や買い物を楽しむことができます。

・構造

木造2階

・棟数・テナント数

9棟・18テナント

・入居見込業種

郷土料理、ジュエリー、着物、ジェラート、フルーツなど



令和7年4月オープン予定

**しかし、自治体側が寄附
を求める事業と、企業側
で寄附をしたいと想定さ
れる事業に齟齬がある**



1 甲府市企業版ふるさと納税の現状

2 甲府市の取組概要

3 現在特に力を入れている取組

企業の立場になった時、甲府市が寄附を求めている事業情報より、先ずは企業側がこういった事業なら寄附をしたいが、より重要では？



- ・こだわりポイントを聞き出す
- ・わたしたちがご案内します
- ・こんな事業がございます
- ・この事業により歩んできた道
- ・甲府市の思い

ファーストペンギン都市甲府

A close-up photograph of two people in business attire shaking hands. The person on the left is wearing a dark suit jacket, and the person on the right is wearing a white shirt. The background is blurred.

**共に地方創生事業を
拵えたい！**

企業様発案のプロジェクトを甲府市は拾い上げます

企業様の力が必要です！

『チーム甲府』として一体となりまして！

- ・地場産業の振興や地域活性化
- ・甲府市民への自主財源の確保
- ・企業様の寄附満足度100%

目指す必要があります！！！！

- 人・まち・自然が共生する
- 人・まち・自然が共生する

- 未来創造都市 甲府
- 未来創造都市 甲府

ご清聴、誠にありがとうございました。